



九州大学、10年以内に世界の大学のトップグローバル研究・教育拠点へ — 文部科学省スーパーグローバル大学創成支援事業（タイプA：トップ型）に採択 —

概要

九州大学は、このたび文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援事業」において、タイプA：トップ型「世界大学ランキングトップ100を目指す力のある、世界レベルの教育研究を行う大学」の一つとして採択されました。

本学は、「戦略的改革で未来へ進化するトップグローバル研究・教育拠点創成（SHARE-Q）」をテーマに、教育、研究、国際化を推進するガバナンス・制度改革を推し進め、本学の強み、特色を基に、今後10年で世界トップレベルの研究・教育拠点を実現します。

背景

「スーパーグローバル大学創成支援」事業は、徹底した国際化と大学改革を断行する大学を重点支援することで、我が国の高等教育の国際競争力を強化することを目的として、文部科学省が平成26年度から実施するもので、実施期間は最大10年間です。

九州大学は、これまでに、「大学の国際化のためのネットワーク推進事業（グローバル30）」、「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」、「大学の世界展開力強化事業」や「博士課程教育リーディングプログラム」等を通じて、学生や教職員の国際化を図ってきました。また、教養教育を抜本的に見直し、本年4月から新たに「基幹教育」をスタートさせたところです。一方、平成31年度までの移転完了を目指して、伊都キャンパスに新たな環境を整備しているところでもあります。

内容

今回の事業により、九州大学は、新たに国際教養学部（仮称）を設置し、教育の国際化を更に推し進めると同時に、戦略的な国際共同研究の展開、人事や制度など国際化対応の改革を行い、世界ランキング100位以内のトップグローバル大学を目指します。

そのため、（1）国際教養学部（仮称）の設置、四学期制の導入などの「教育システムの国際化推進」、（2）世界トップクラスの大学との研究・教育交流、研究教育ポートフォリオの戦略的組み替えなどを通じた「研究の国際化推進」、（3）グローバル化推進本部の設置、若手・外国人・女性教員の積極的採用や新任教員の英語での授業義務化をはじめとする「国際化を推進するガバナンス・制度改革」、（4）世界大学ランキング向上のための「戦略的レピュテーション・マネジメント」、（5）多文化共生宿舎や研究・教育環境の整備などの「留学生・外国人研究者に対する環境づくり」、（6）研究・教育拠点、海外サテライトキャンパス等の「海外拠点の整備充実」など、九州大学全体にわたる取組を行います。

特に、教育と研究面では、Class Share（外国人留学生との協働教育）、Lodge Share（多文化共生宿舎）、Student Share（交流協定校との交換留学）、Education Share（海外トップクラス大学との授業共有）、Supervisor Share（大学院複数指導教員制度の国際化）、Project Share（国際共同研究拠点との交換留学、若手教員の長短期派遣）、Symposium Share（世界トップクラス研究者が集結する国際シンポジウムのシリーズ開催）といった、様々な「Share」で相乗・協働効果を生み出す取組を計画しています（別添の資料をご参照ください）。

効果

今後10年間で、世界水準の大学として、教職員や学生がアクティブに海外交流を行い、世界から優れた人材が集まるトップグローバル・ハブキャンパスが生まれます。例えば、外国からの留学生は4,700人（現在の約1.8倍）、海外に留学する学生は2,000人（同約6.5倍）、外国人教員や海外で学位を取得した教員1,500人（同約3倍）、全体の25%は英語による講義など、世界の知性が集まる洗練された大学として、「躍進百大」（すべての分野において世界のトップ100大学に躍進する）が具現化されます。各界で活躍するグローバルリーダーの育成と産業界と連結するイノベーションの拠点としての役割が

期待されます。

■今後の展開

最初の2年間の改革始動ステージでは、グローバル化推進本部を設置、環境・制度・体制を整え、世界水準の研究・教育が円滑に行われ、グローバル化の変化に迅速に対応するためのガバナンス体制を整備します。優秀な人材が集まる拠点を創出するため、新たなカリキュラム、国際コースの制度設計、海外共同研究の拡大などを行います。また、海外での評価を向上させるため、戦略的なプロモーションを行う「レピュテーション・マネジメント・ユニット」を新たに立ち上げます。

次の6年間では、改革を拡大し、本格的な取組を展開していきます。四学期制のスタート、国際教養学部（仮称）の開設、伊都キャンパス移転の完了、ダブルディグリー・ジョイントディグリーの開始など、これまでにない世界水準の大学へと変身します。

最後の2年間では、改革を完了させ、研究教育のポートフォリオを組み替え、実質的な世界の研究・教育拠点として、「世界の九州大学」のブランドを確立します。

これらの成果を測る指標として世界ランキングに注目します。今後10年では、例えばQS世界大学ランキング^(※1)30位内、THE世界大学ランキング^(※2)80位内への躍進を目指します。

(※1) QS世界ランキング：英国の大学評価機関「クアクアレリ・シモンズ社（Quacquarelli Symonds :QS）」が毎年9月に公表している世界の大学のランキング。

(※2) THE世界大学ランキング：英国の高等教育専門週刊誌『タイムズ・ハイアー・エデュケーション（Times Higher Education）』が毎年秋に公表している世界の大学ランキング。

【お問い合わせ】

国際部 部長 大村 浩志

国際企画課長 濱田 太

電話：092-642-2134

FAX：092-642-4242

Mail：intlkkacho@jimu.kyushu-u.ac.jp